

大阪大学名誉教授 小野田 正利 [日本教育行政学会、日本教育学会、
日本教育法学会 など所属] 講演会

難しくなる保護者対応トラブルを考える

～学校としてすべきこと、してはいけないこと～



「保護者から何か一言あると、
それに身構えてしまう」
「深追いしてしまっ、
余計に事態をこじらせている」
こんな経験をした教職員はいませんか？



著書等「先生の叫び 学校の悲鳴」

「それでも親はモンスターじゃない

～保護者との向き合い方は新たなステージへ」など

「私は常々『相手の方の振り上げた拳そのものではなく、その源にあるものを見いだしましょう』と言い続けてきました。表面上に見えるものよりは、その方の主訴が何であり、その背景には何があるかが多少は見えると、対応の見通しもつきやすいと思います。難しくなる保護者対応トラブルの際に、解決までは無理な場合があるとしても、教師として何を基本としておくべきか、トラブルを大きくしないために何をしてはいけないか、逆に何をすべきか、について語りたいと思います。」 (以上、小野田正利氏本人の談より一部抜粋)

長期休業が終わる前に、一度ふりかえって、いっしょに考えてみませんか？

日時：8月25日（日） 13:00～15:10

受付12:40

会場：高教組会館3階 参加費：無料、予約不要

神戸市中央区北長狭通5丁目2-10

オンライン参加も準備しています。オンライン参加を
希望される方はGoogleフォームからの登録が必要です。
後日、ID等をお伝えします。



※どなたでも、参加できます。

主催：兵庫県高等学校教職員組合

神戸市中央区北長狭通5丁目2-10

078-341-6745

honbu@hyogo-kokyoso.com